

年号が平成から令和に変わって1年が経ちましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、大変な状況を迎えております。この原稿を執筆している令和2年5月下旬、4月に発令された緊急事態宣言が全国で解除され、少しずつではありますが、元の生活に戻ることが期待され始めております。

2月頃から、感染拡大防止のため、学内外のほとんどの行事が中止や延期となり、3月に予定されていた学会や大学の卒業式も中止されました。当初は4月には落ち着くのではないかと期待もありましたが、事態が収束することはなく、工学部では授業開始日を1か月遅らせ、5月11日から原則オンライン形式での授業を行うこととなりました。オンライン講義では、主にZoomなどを使用した双方向リアルタイム通信のものやビデオ教材を用いたオンデマンド型のものがあり、研究室のゼミもオンラインで実施されています。また、就職活動においては、オンラインでの説明会に参加し、Zoomによる面接で選考を受け、一度も企業を訪問することなく内々定をいただいている学生もみられます。

実際にオンライン講義を実施してみて、動

画配信の場合、学生が好きな時間に受講できることや分からない場合に繰り返し視聴できるなどの利点もありますが、授業中のちょっとした雑談や授業前後の時間の教員や他学生との会話もできないため、学生にとってはかわいそうな気もしています。特に新1年生は入学後、外出も制限される中、自宅でオンラインの授業を受講し、レポートの課題に取り組み、疲弊しているのではないかと心配されます。また、課外活動も禁止されており先輩後輩といった縦のつながりや同学年の学科外の友人を作りにくいなど大学生活のよさが失われていることも残念に思います。

コロナ禍により大学や社会全体の仕組みが変わりつつあります。変化により便利になる部分もある一方で、これまで当たり前だった大事な部分が見落とされるようにも思います。大学側はしっかりと学生を支援していかなければなりません。皆さまが本号をご覧になる頃、まだ事態が収束しているかはわかりませんが、一日も早くコロナ禍が収束し、皆さまが安心した生活を送れることを心よりお祈り申し上げます。

(知情H15 藤田 悠介)

「常盤」編集委員長：朝位 孝二
(社会建設工学科)

編集委員

森田 実 (機械工学科)
梶山慎太郎 (社会建設工学科)
山吹 一大 (応用化学科)
村田 卓也 (電気電子工学科)
藤田 悠介 (知能情報工学科)
小林 剛士 (感性デザイン工学科)
田中 一宏 (循環環境工学科)

常 盤 85号

令和2年7月15日発行

発行 一般社団法人 常盤工業会

編集 『常盤』編集委員会

〒755-0039 宇部市東梶返1-10-8

TEL (0836) 32-7599

FAX (0836) 22-7285

E-mail tokiwa@bc.wakwak.com

<http://park14.wakwak.com/~tokiwa/>

払込口座 01550-5-25085

印刷 児玉印刷株式会社